

ちばけん公民館 スタッフニュース



日常こそ、
ドラマチック

Dramatic Yotsukaido

ドラマチック四街道について

取り組み

よつぼくん

お知らせ

お問い合わせ



スクロール



わがまちじまん!!

四街道市「ドラマチック四街道プロジェクト」

四街道市は千葉市、佐倉市に隣接する人口約9万4千人の市です。東京まで電車で約50分、成田空港まで約40分に位置し、国道51号線と東関東自動車道が縦断する好アクセスで、首都圏のベッドタウンとして成長してきました。都市機能と里山の豊かな自然が調和したまちです。

四街道市では、「日常こそ、ドラマチック」をテーマにした「ドラマチック四街道プロジェクト」に取り組んでいます。特別な何かではなく、いつまでも残していきたい何気ない日常や景色にスポットを当て、等身大の四街道の暮らしを発信しているプロジェクトです。公式のWebサイトを立ち上げ、映像や写真などでまちの人たちやイベントの様子などを紹介しています。

市内の森で元気に遊ぶ子どもや青春を謳歌する高校生、公民館などでいきいきと活動する高齢者。そんな四街道の大切な日常が詰まっているのが、写真集「ドラマチック四街道」です。2015年の秋から冬にかけて撮影した、四街道に住む人たちが景色が収められています。何気ない日常の大切さを、改めて感じることができる写真集です。写真集はAmazonでも購入できますので、チェックしてみてください。

その他、映像「ドラマチック四街道」や、四街道のストーリーを紡ぐ市民や団体へのインタビュー動画「まちのストーリー」などを同プロジェクトのWebサイトやYouTubeなどで公開しています。四街道を知って好きになってもらうだけでなく、それぞれの地域の大切なことに気付くきっかけになるかもしれません。ぜひご覧ください。



写真集「ドラマチック四街道」



平成30年11月14日、船橋市民文化ホール・船橋市中央公民館にて、～「新時代へさらなる飛躍を」人に出会い、学びあう喜びを実感できる公民館であるために～をテーマに第70回千葉県公民館研究大会が盛大に開催されました。

記念講演では、千葉大学名誉教授である^{ながさわせいじ}長澤成次先生をお迎えし、「公民館の未来を考える」をテーマにご講演をいただきました。



第1分科会

第1分科会では、「地域を元気にするために～高齢者学習と公民館～」をテーマに我孫子市あびこ市民活動ステーションマネージャー高橋由紀氏が高齢者が弱者ではなく社会に必要な存在としてあり続けるための「プロダクティブエイジング」について発表。その後我孫子市及び浦安市の事例発表があり、高齢者の学習意欲を高め、活動力を生み出す「おとなの学び」について考えました。



第2分科会

第2分科会では、「地域で子どもは育つのか～公民館でできること～」をテーマに2市町から発表がありました。鋸南町は「人をつなぐ」をキーワードに公民館が人と人をつなぎ、チームきよなんが中心的役割を果たし、子ども達を地域で育む事例を発表。木更津市では、子ども・若者世代が公民館に来ないことを念頭にどのような事業を行えばいいか協議し取り組んだ事例を発表しました。その後グループワークを行い、子どもに必要なことは何か、子どもの何を育

てたいかを踏まえ公民館の可能性について考えました。

第3分科会では、「公民館における避難所運営」をテーマに日本防災士会千葉県北部支部青木氏から避難所運営ゲーム(HUG)について様々な図上訓練による効果的かつ効率的な活動体験等の演習を行いました。

公民館を管理運営するうえで、災害時の避難所運営は重要なテーマの一つであり、日頃からの心構えが必要なことや普段から危機管理意識を持つことの重要性を認識することなど、住民主体の避難所運営を作っていくことで自治体の力をつけるという大切さについて、改めて理解を深める契機となる内容でした。

第4分科会では、「公民館職員の専門性」をテーマに2名から発表がありました。

県内の公民館でも専門職の減少や経験年数の浅い職員が増えている状況の中、地域の生涯学習の拠点である公民館に勤務する職員に必要な専門性と資質について、発表者が豊富な経験から得た教訓に基づく貴重なお話を聞くことができました。

第5分科会では、「学校と公民館の連携」をテーマとして、周南公民館主催事業「松本ピアノ修復講座」を演題に、君津市の宝でもある松本ピアノについて、そこに注がれてきた技や心を学び、継承し後世に伝えたいとの思いから周南中学校で、選択技術の授業として「松本ピアノ」の修復作業に取り組み、またこれを地域の大人たちが引き継ぐ形で実施された内容について発表されました。

第6分科会は、「東京オリンピック・パラリンピック」をテーマに3組の発表者からさまざまな取り組みについての報告がされ、この事例発表をもとに活発な議論がおこなわれ、公民館事業をとおした地域交流の場づくりを考える機会となりました。

最後になりましたが、運営にあたられました葛南地区公民館連絡協議会の皆様、大変お疲れ様でした。



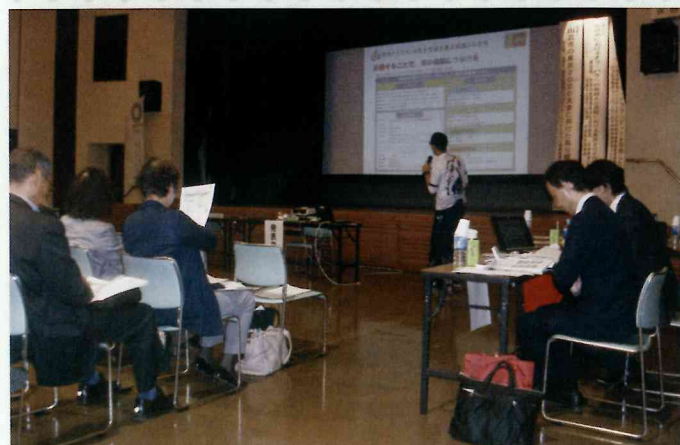
第3分科会



第4分科会



第5分科会



第6分科会

日頃の地域学習活動への貢献が評価されました!

長生村中央公民館・市原市立姉崎公民館・ 流山市生涯学習センターが、 平成29年度文部科学大臣表彰 「優良公民館」を受賞しました

文部科学省では、全国の公民館のうち、特に事業内容・方法などに工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献している公民館を「優良公民館」として、文部科学大臣が表彰しています。

平成29年度に全国約1万4千の公民館から76館が表彰され、千葉県からは長生村中央公民館・市原市立姉崎公民館・流山市生涯学習センターの3館が受賞しました。

各館の活動をご紹介します。

■「未来へつなぐ健康で平和な村：長生」

長生村中央公民館 ☎0475-32-3770

長生村中央公民館は、昭和47年に開館しました。

また、その翌年に公民館バスを導入し、校外学習や各種体験活動等も実施しております。

村は、九十九里浜に面した温暖な気候と平坦な地形を利用して、稲作や野菜作りを中心に発展してきたため、施設内の郷土資料室は、特に昔に使用していた農具類など約100点展示しており、村の旧跡、歴史や文化なども知ることができます。

現在、村の人口は、約14,500人で高齢化率も

30パーセントを超え、1人暮らしの高齢者も増加傾向にあります。

特に、高齢者の社会的孤立感の解消と健康保持を図るため、クラブ活動・各種教室に多数参加していただけるよう実施しています。

また、隣接している長生村文化会館では、約700人収容できるホールもあり、この施設を使用し成人式や文化祭、子ども祭りなど1年を通して様々な催しがあり、賑わいを見せております。

そして中央公民館は、「いつでも、どこでも、誰でも」が学習の機会や意欲を高められるよう地域を結ぶ生涯学習の環境づくりに努めています。



大人の英会話教室



和菓子教室

■「はつらつかレッジ」の紹介

市原市立姉崎公民館 ☎0436-61-0124

姉崎公民館は漁師町として栄えていた姉崎地区に、昭和28年に開館しました。その後、昭和30年代に始まった京葉工業地帯の造成に伴う我が国を代表する企業の進出により、多くの人口が流入するなど、開館当初とは大きな変革を遂げており、このような地区の発展とともに歩んできた公民館です。

当館を代表する主催事業「はつらつかレッジ」は、団塊世代の定年退職が進む中、第二の人生の生きがい作りとして、主に65歳以上の方を対象に協働を意識しつつ、「多くの仲間との出会い、ふれあい、学びを通して生きがいのある生活を目指す」をテーマとして、年10回の講座(う

ち1回はバス研修)を行っています。毎年、定員の2倍ほどの申し込みのある、人気の講座となっています。

講義の内容としては、地域の歴史をウォーキングしながら学習するほか、医療や健康、終活、防災など様々な分野について学びますがその中で、受付や片付け、学びにも班活動を取り入れることにより、仲間づくりを大切に行う事を心がけています。

また、この講座をきっかけに「はつらつ筋トレ」、「笑いヨガ」などのサークル活動の立ち上げや、各種ボランティア活動へ参加する方も数多くおり、学びの輪が広がっていることを実感しています。

今後も、公民館が地域の皆様の活動拠点として活用されるよう頑張っていきたいと思ひます。



筋トレ体験



アルバムで講座の振り返り

■「来てよかったね」「また来たいね」と言われる施設へ 流山市生涯学習センター(流山エルズ)

☎04-7150-7474

平成18年に千葉県立青年の家から流山市生涯学習センターとして生まれ変わり、老若男女を問わず多様な生涯学習が出来る施設として活動してきました。

イベントなども地域・民間・行政・企業・大学などとの連携をとり、協働事業を展開してきました。その中には「流山ジャズフェスティバ

ル」や「セントラルパークフェスタ」など10年以上続くものもあります。

自主講座でも年間80種以上の講座を開講し、市民の方の「何かを始めるきっかけの場」として利用していただいています。

流山市も都市開発が進み、子育ての街として発展してきており、近年は子育てに力を入れた講座・イベントなども開催しております。また地域・消防・警察・企業との連携事業で防災フェスをを行い、防災にも力を入れています。



セントラルパークフェスタ「ラート体験」



流山ジャズフェスティバル「猪俣猛ジャズオーケストラ」

まちより むらより、

第10回共に学ぶ市民の集い

君津市八重原公民館 ☎0439-55-1840

「共に学ぶ市民の集い実行委員会」は、君津市内8公民館と市民有志による実行委員で構成され、時事的な課題や開催館の特徴等によって課題を設定し、議論を積み重ねながら、課題に則した「集い」を毎年1回開催しています。

第10回となる今回は「子どもが育つ地域づくり」を検討課題とし、市内小学生やその保護者に子どもの遊びに関するアンケートを実施するなど、研究・議論を重ね「きて！みて！あそんで！公民館地域で子どもを育む遊び」と題して八重原公民館を会場に「子どもの遊び」に焦点をあてたイベントを開催しました。

当日は、さまざまな団体にご協力いただきながら、実物大の生き物を描くワークショップ、音楽遊び、紙飛行機、木工、段ボール遊び、小麦粉粘土など、大人も子どもも心から楽しめる「遊び」のブー

スを多数設け、多くの来場者を得ることができました。交流のスペースでは、子どもの遊びと学びについての意見交換も充実し、実りあるイベントとなりました。



子どもの「生きる力」を育む『夢の箱』

千葉市黒砂公民館 ☎043-241-2811

「オギャー」と産声を上げてから、子どもはその時々に応じた成長を遂げます。

“三つ子の魂百まで”“7つ前は神のうち”“9歳の危機”そして“魔の14歳”…。

この思春期に差し掛かるまでの間に、学校教育の現場以外の地域の中で、いかに生涯学習の場を提供するかを子ども会や地域の有識者の知恵を借りて企画したのが『夢の箱』です。

ここで、ほぼ毎月開催している子ども向け企画の内容を少しだけ紹介します。

多芸多才な講師陣がずらりと勢ぞろいするトップバッターは美大出身のIさんです。Iさんは地



域の青少年育成委員でもあり、子どもの扱いは母親たちのお手本です。地元の大学生ボランティアと一緒に春には昆虫探検・夏には藍染・秋は科学工作・冬は餅つきと、申し込みはいつも満員です。

他にもPTAのおやじの会の方がうどん作りを教えてくださいたり、年に一回ですが千葉市科学館とのコラボ企画や地元の警察の方と防犯グッズ作りなども行っております。

学校では生き方について子どもたちがじっくり考える機会はなかなかありません。ですから、地域の中でこうしたキャリア教育もかねた子ども向け講座が子どもたちの「生きる力」を育むのではないのでしょうか。

講座の目的は、ズバリ！「子どもの居場所作り」です。この仲間と体験した遊びが日常へと還元されたときに、人は長期的な時間軸を持つことができるようになると思います。

命の重さが希薄になってきている昨今、地域の大人たちを巻き込んだ公民館ならではの企画、「ぜひ、千葉県ならず全国へと広がってほしいなあ…」と思う地域のお節介お姉さんなのでした。

持ちより公民館だより

WakūWakū♪カルチャースクール

勝浦市芸術文化交流センター ☎0470-73-1001

勝浦市芸術文化交流センターでは、「あなたにぴったりがきつとみつかる」をテーマに芸術作品等のものづくりをはじめ、お料理やエクササイズなど、30を超える文化教室、WakūWakū♪カルチャースクールを実施しています。その中から2つの教室をご紹介します。

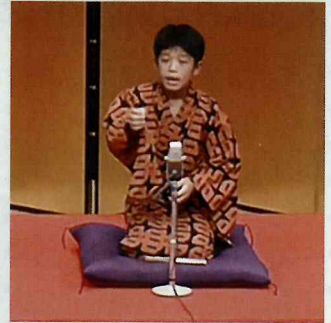
～ハーバリウム教室～

人気のインテリア雑貨として注目を集めているハーバリウム。一級フラワー装飾技能士の資格を持つ講師を招き、ガラス瓶の中にプリザーブドフラワーを詰めオイルを浸すことにより、お花や植物を美しい姿のまま保つ技術を受講生たちへ伝授して頂きました。長期間の鑑賞が楽しめる、更にお手入れも不要というお手軽さも大好評でした。



～かつうら落語教室～

「聞く側から演じる側に！」と最年少は11歳、最年長は88歳と世代の垣根を大きく飛び越え、受講生たちが集いました。「勝浦の笑いは素人が作る」をモットーに切磋琢磨、教室の最終日には一般公開の寄席を成し遂げました。また、教室終了後も11歳の少年は技術を磨き続け、師匠と共に様々な地域行事に出演しています。新たに芽吹いた若葉の活躍から目が離せません。



地域の交流を促進し芸術文化の振興に資するため、勝浦市芸術文化交流センターは今後も「あなたにぴったり」が見つかるようなWakūWakū♪カルチャースクールを目指します。

海風そよぐ町を歩いて元気に!ポールウォーキング講座

九十九里町中央公民館 ☎0475-76-4116

九十九里町ポールウォーキング講座は平成29年度から開始したウォーキング講座です。

ポールウォーキングとは、整形外科医がメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)・認知症・ロコモティブシンドローム(運動器症候群)・フレイル(加齢による心身の老化)対策として開発されたものです。専用のポールを使うことで誰でも簡単に、気軽に“正しい歩き方”ができます。

この講座は、各自治体の保健センターで実施する健康教室ではなく、社会教育の特徴を生かした公民館講座として位置づけ、年齢を制限せずに町



内の住民を対象に開講することとしました。

現在2年目となり、参加者数は約20名程度で活動していますが、30年度の募集では参加申込み人数が想定よりも多く、大変人気のある講座になっております。この活動を通して参加者が正しい歩き方や自分の身体について楽しく学びながら、何歳になっても“少しずつでも自分は変わることができる”という実感を持っていただけることを目的として実施しております。

参加者の中には「一番最初に参加したときは膝が痛くて全然歩けなかったんだけど、いまは前よりも歩けるようになった」(70代女性)と、「仕事をやめて運動をばったりしなくなりましたが、講座に参加して歩き方を普段も意識するようになりました」(50代女性)と生活習慣や身体の変化を実感された方がいます。

可能な限り多くの方が、歩くことを通して生活の幅が広がることを身近に感じていただけたらと思います。

シリーズ・県内の
元気館

**浦安市中央公民館が
リニューアルオープン**
☎047-351-2638

昭和60年の開館以来、33年が経過し、施設が老朽化しておりましたことから、大規模改修工事を行いました。



施設の紹介

- 1階に授乳室を新設し、2階の保育室に床暖房と幼児用トイレを設置。
- トイレの洋式化や多機能トイレの増設、車椅子対応のエレベーターを設置し、「バリアフリー法」および「県福祉のまちづくり条例」に対応するように改修しました。
- 更に、4階大集会室においては難聴者の聞こえをサポートする、「磁気ループシステム」を採用。
- 太陽光発電、LED照明・各部屋の個別空調方式を採用し、地球環境に配慮した整備を行いました。



オープニングセレモニー及びイベントについて

近隣住民の方や公民館利用者、市議会議員、教育委員など沢山の来賓の方々にお集まり頂き、オープニングセレモニーとして市長・教育長・市議会議員によるテープカットを行いました。

オープニングイベントでは、太鼓演奏や小学生による吹奏楽の演奏を行い、家族や友人、セレモニー参加者など多数の方が観覧され、すばらしい演奏を楽しまれました。

中央公民館は市民の自主的なグループ学習活動に会場を提供しているほか、いろいろな教室や講座などを行っています。また、こうした主催事業に小さいお子さんがいる方でも参加できるように保育も行っています。今後も地域の皆様の生涯学習活動の拠点として、たくさんの利用をしていただけるよう努力していきます。



お詫びと訂正

2018年9月発行の120号8ページ右下の写真キャプションに誤りがありました。

お詫びして訂正します。

誤 受賞者からのあいさつ

正 事務局長からのあいさつ

**ちばけん公民館
スタッフニュース**

編集：千葉県公民館連絡協議会 広報委員会
委員長：細川 邦子(浦安市堀江公民館)

発行：千葉県公民館連絡協議会
印刷：エリート情報社